

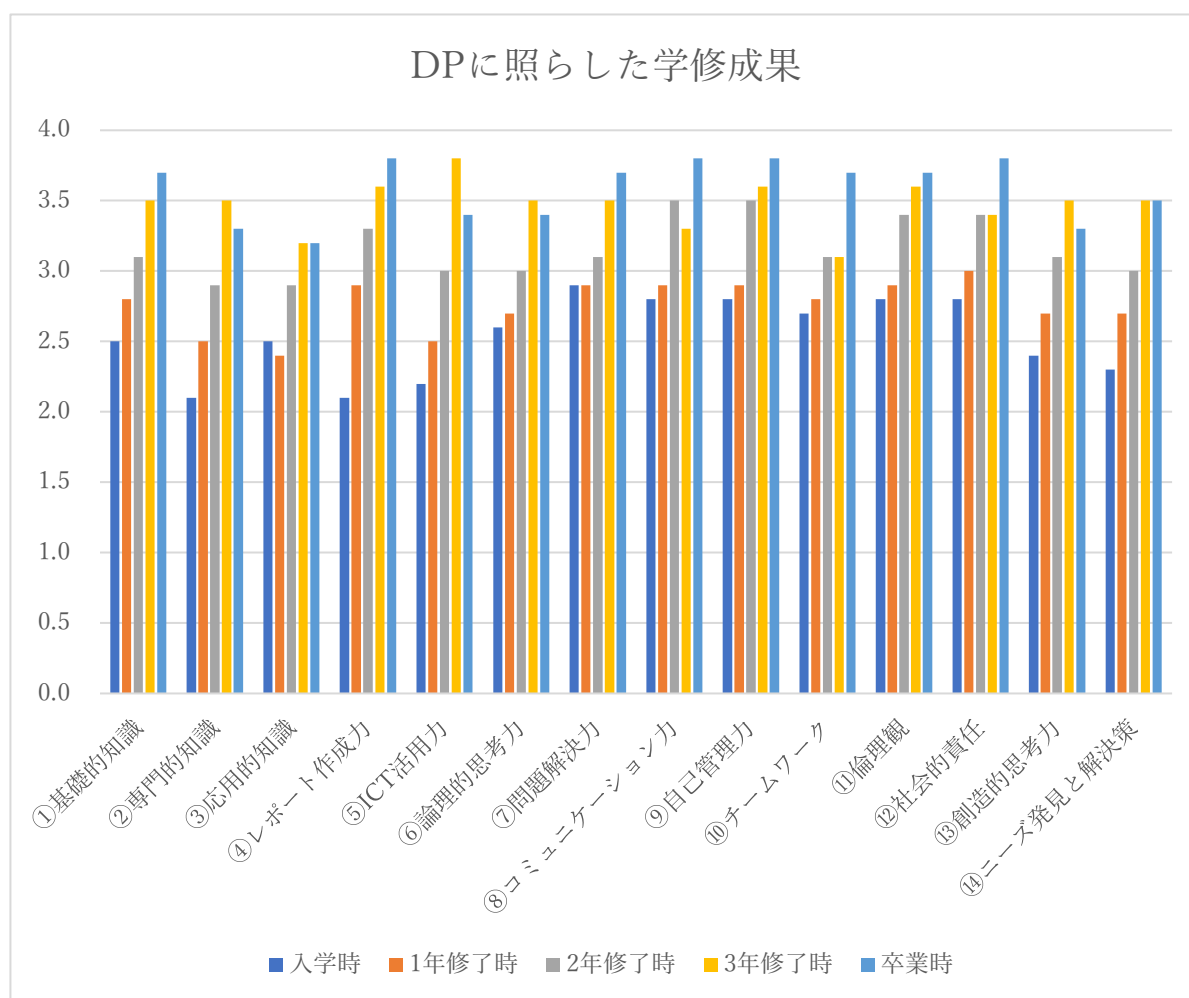
2024 年度 学位授与の方針(DP)に照らした学修成果に関する検証

総合福祉学部 福祉行政学科

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握(学科/研究科専攻の学位授与の方針)」のデータを活用し、DP の妥当性を検証した。各学科・研究科専攻の学位授与の方針(学生が身に付けるべき資質・能力の目標)については、本学ホームページの「教育方針」(下記 URL 参照) <https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/dswa.html>

福祉行政学科では学生の学修成果を DP に基づく 14 項目、6 件法で調査した。各項目に対して、6 段階を 1~6 点に換算した際の各学年の平均値をまとめて図示したものが以下になる。なお、回答数(回答率)は 1 年生(入学時 81(79%)、終了時 51(49%))、2 年生 30(29%)、3 年生 29(28%)、4 年生 28(27%)である。

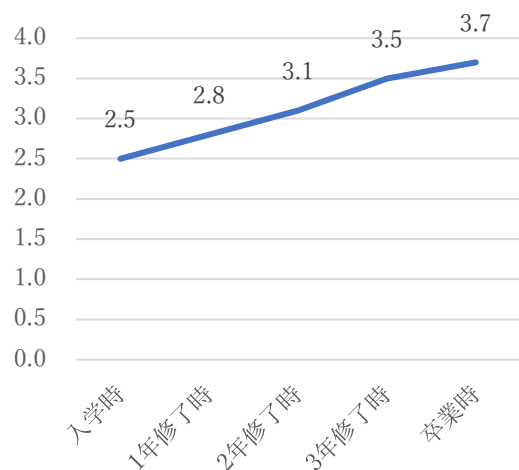
調査項目は①基礎的知識、②専門的知識、③応用的知識、④レポート作成力、⑤ICT活用力、⑥論理的思考力/クリティカルシンキング力、⑦問題解決力、⑧コミュニケーション力、⑨自己管理能力、⑩チームワーク、⑪倫理観、⑫市民としての社会的責任、⑬創造的思考力、⑭社会における顕在的・潜在的ニーズ発見と解決策の提案、の 14 項目である。



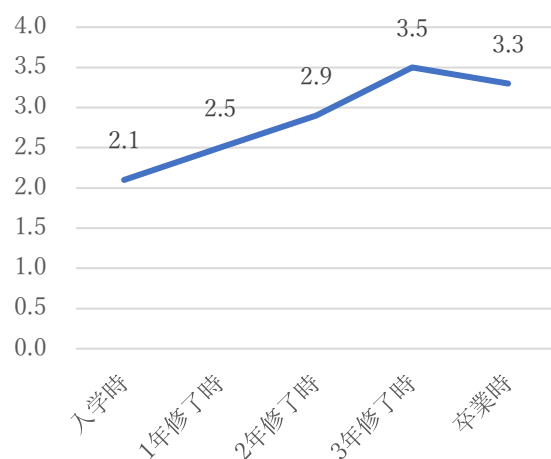
上のグラフは、入学時～一年終了時～二年終了時～三年終了時～卒業時にいたるまでの各項目の数値である。細かな揺らぎはあるが、概して学年が上がるごとに著しく能力が上昇しており、卒業時までに着々と DP に揺っている資質を身につけて卒業していることが検証された。

次に、14 の各項目の年次変化を視覚化するために、折れ線グラフをあげていく。

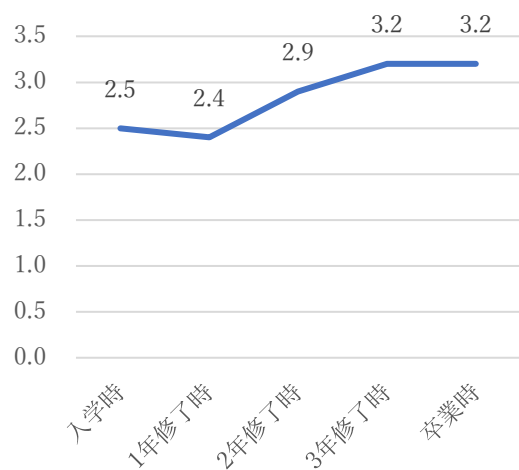
①基礎的知識



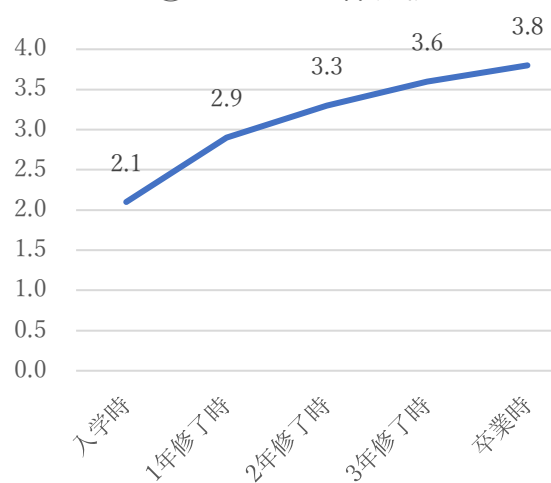
②専門的知識



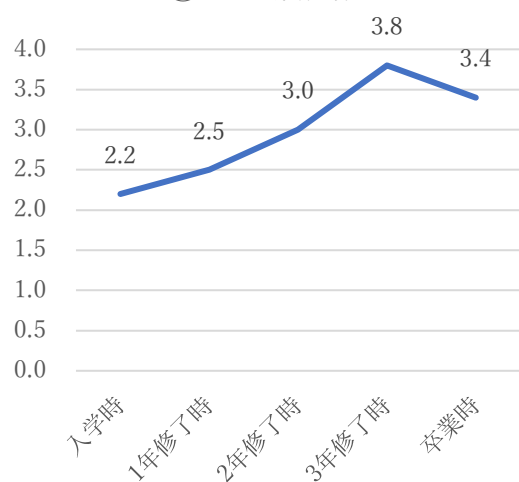
③応用的知識



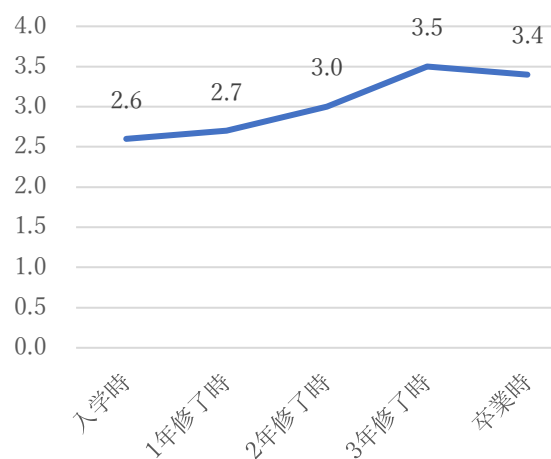
④レポート作成力



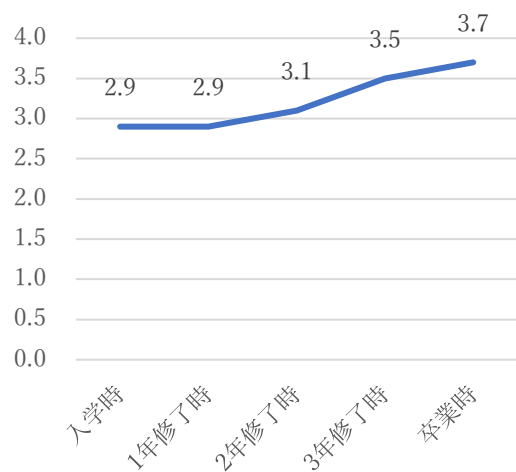
⑤ICT活用力



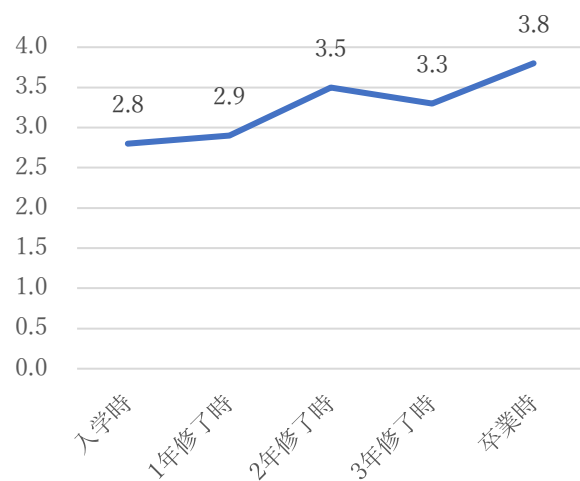
⑥論理的思考力



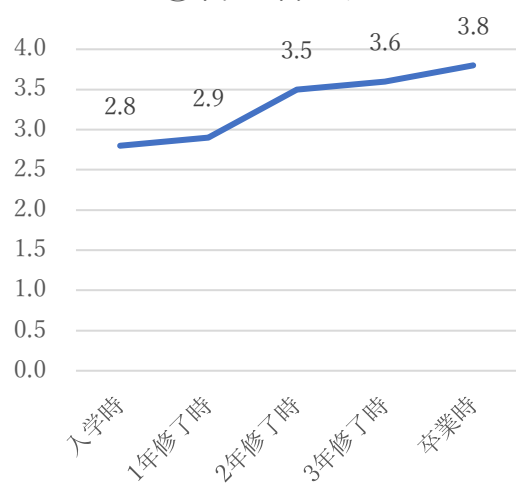
⑦問題解決力



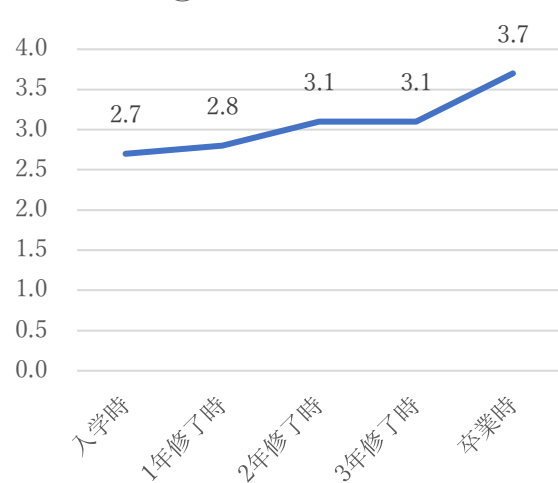
⑧コミュニケーション力



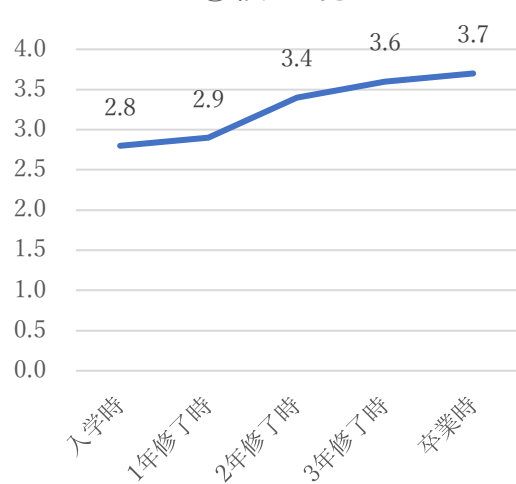
⑨自己管理能力



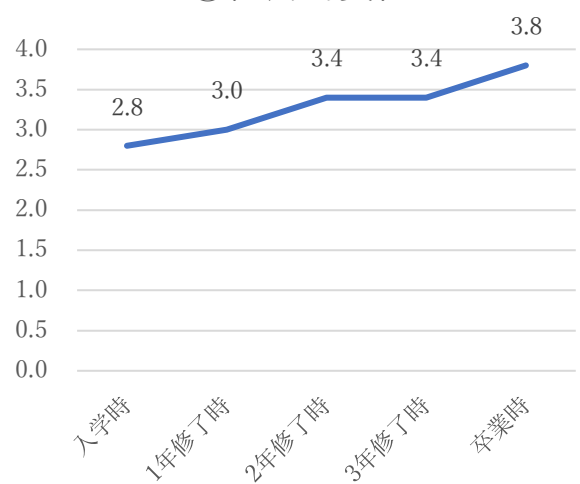
⑩チームワーク

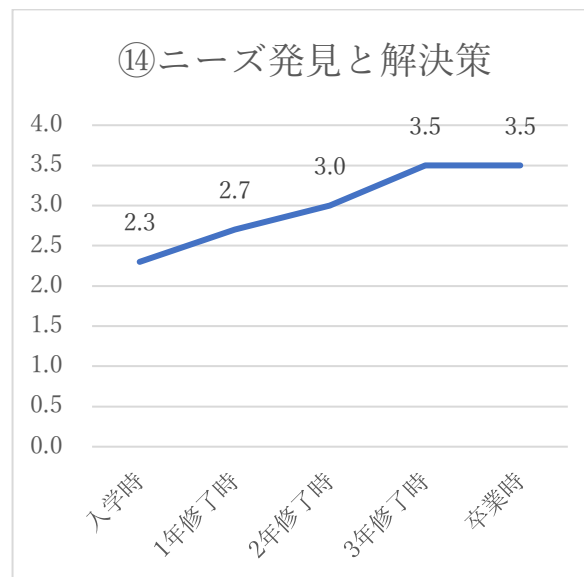
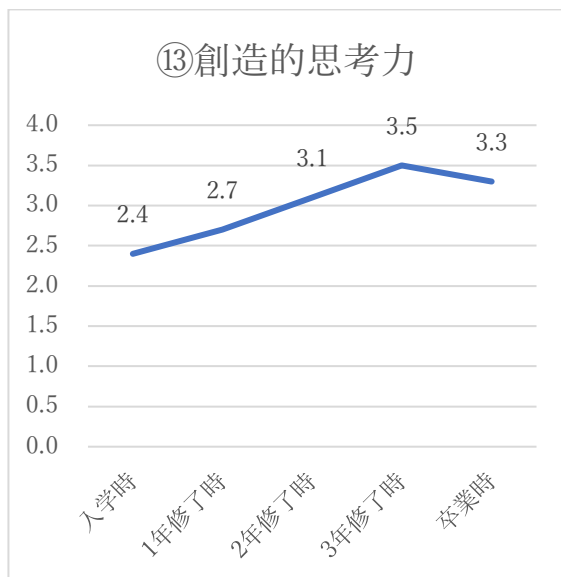


⑪倫理観



⑫社会的責任





以上のように、入学時から卒業時までの DP で謳う 14 項目全ての資質・能力を見るに、ほぼ全項目で学年が上がるごとに評価の平均値が高くなっている。このことから、学修成果に照らして学位授与の方針は適切に進展していると判断できる。

今後は、②専門的知識、⑤ICT 活用力、⑥論理的思考力、⑬創造的思考力のように、3 年生をピークに 4 年生になると頭打ちとなるように数字が出ている能力について、その力を維持したり伸ばせるような、能力の伸びを自覚できるようなカリキュラムポリシーの工夫が必要となる。